




就学児童票(案)

- 注)  潜在ニーズの把握のための項目として設定することが必要。
 潜在ニーズの詳細な分析に必要な項目であり、自治体の必要性に応じ設定。
 基本的にニーズ推計には直接用いないが、ニーズの背景等を分析するために、自治体の必要性に応じ設定。

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成 年 月 生まれ

調査対象世帯の状況を把握するためのフェイス項目群。クロス集計に活用する機会が多いと考えられるため設定してあるが、当該自治体の問題意識に応じて取捨選択すること。

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢(平成 年4月1日現在の年齢)をご記入下さい。

人 末子の年齢 歳

宛名の子どもの年齢を把握。年齢別の推計ニーズ量を算出したい場合に活用。

世帯の子ども人数及び末子の年齢を把握。将来の母親の再就職時期等を把握したい場合などに活用。

問3 宛名のお子さんとの同居・近居(概ね30分以内程度に行き来できる範囲)の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号すべてに をつけてください。

1. 父母同居 2. 父同居(ひとり親家庭) 3. 母同居(ひとり親家庭) 4. 祖父同居
5. 祖母同居 6. 祖父近居 7. 祖母近居 8. その他

家庭内の支援の可能性の観点から同居の祖父母等の有無を把握。核家族か三世大家族か、ひとり親世帯かを区別する。家族類型の設定に活用。

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない

友人や地域の支援の可能性の観点から把握。日常的あるいは緊急時に預け先があるかどうかを把握する。家族類型を詳細に設定したい自治体で活用。

問4-1は、問4で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに をつけてください。

問4-1 祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに をつけてください。

1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない
2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母の時間的制約や精神的負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他

ライフスタイルの変更希望(身内や友人・知人からの支援に関する将来の考え)を把握する。ニーズ推計において、家族類型を詳細に設定したい自治体では、潜在家族類型設定に活用。

問4-2は、問4で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに をつけてください。

問4-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに をつけてください。

1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他

問4-1と同じ

就学児童票(案)

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけをつけてください。続柄は宛名のお子さんから見た関係です。

1. 主に父親	2. 主に母親	3. 主に祖父母	4. その他
---------	---------	----------	--------

保育等の発生ニーズにもっとも影響が大きい保護者を特定。

問 お住まいの地区としてあてまる答えの番号に1つだけをつけてください。

1.	2.	3.	4.
5.	6.	7.	8.

保育等のニーズを地区別に集計するために把握。集計段階で行政の地区区分に集計するなどの工夫が必要。

就学児童票(案)

2. 封筒の宛名のお子さんの親御さんの就労状況についてお伺いします。

問6 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。あてはまる答えの番号に1つだけをつけてください。併せて、〔 〕に数字の記入をお願いします。

(1) 父親

1. 就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）

1週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。

【 1週当たり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時間 】【

2. 就労している（フルタイムだが育休・介護休業中）

3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）

就労時間についてお伺いします。

【 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 】【

フルタイムへの転換希望がありますか。

【 希望がある 希望があるが予定はない 希望はない 】【

4. 以前は就労していたが、現在は就労していない

5. これまでに就労したことがない

保護者の就労の状況を把握。ニーズ推計において家族類型の作成に活用。

就労時間、帰宅時間については直接ニーズの推計には使用しないが、働き方に関する現状の把握や地域住民の生活実態の把握に活用。その場合、合わせて父母の「家事・育児時間」や「子どもと過ごす時間」、「1週間のうち夕食を家族で取る回数」などを把握することも考えられる。

(2) 母親

1. 就労している（フルタイム；産休・育休・介護休業中は含まない）

1週当たりの平均の就労時間・働いている日の平均的な帰宅時間についてお伺いします。

【 1週当たり〔 〕時間、帰宅時間〔 〕時間 】【

2. 就労している（フルタイムだが産休・育休・介護休業中）

3. 就労している（パートタイム、アルバイト等）

就労時間についてお伺いします。

【 1週当たり〔 〕日 ・ 1日当たり〔 〕時間 】【

フルタイムへの転換希望がありますか。

【 希望がある 希望があるが予定はない 希望はない 】【

4. 以前は就労していたが、現在は就労していない

5. これまでに就労したことがない

就学児童票(案)

問7は、問6の「(2)母親」で「4. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「5. これまでに就労したことがない」を選ばれた方にお伺いします。該当しない方は、問8へお進みください。

問7 母親の就労希望はありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|-----------|
| 1. 有(すぐにも若しくは1年以内に希望がある) | (問7-1へ) |
| 2. 有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい) | (問7-1へ) |
| 3. 無 | (問8へ) |

母親の就労希望について把握。ニーズ推計において、ライフスタイルの変更希望の1つの要素として、家族類型(変更希望)の設定に活用(問7、問7-1)。

問7-1及び問7-2は、問7で「1.有(すぐにも若しくは1年以内に希望がある)」、「2.有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選ばれた方にお伺いします。

問7-1 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ をつけてください。(パート、アルバイトを希望の方は一週当たり日数及び一日当たり時間も記入してください。)

- | |
|--------------------------------------------|
| 1. フルタイムによる就労 |
| 2. パートタイム、アルバイト等による就労(週当たり〔 〕日・一日当たり〔 〕時間) |

問7-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い答えの番号に1つだけ をつけてください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 放課後児童クラブなどのサービスが利用できれば就労したい |
| 2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない |
| 3. 自分の知識、能力にあう仕事がない |
| 4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない |
| 5. その他() |

就労希望のうち、保育サービスが前提と考える者の把握等に活用。

問7-3は、問7で「2.有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」を選ばれた方にお伺いします。

問7-3 宛名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

歳になったとき

就学児童票(案)

3. 放課後児童クラブの利用についてお伺いします。

問8 宛名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブを利用していますか。あてはまる答えの番号につけてください。

【放課後児童クラブ...地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下で、子ども（おおむね10歳未満）の生活の場を提供するものです。問8-5の「放課後子ども教室」と連携して実施されている場合があります。】

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 利用している | (問8-1へ) |
| 2. 利用していない | (問8-2へ) |

問8-1 上記の問で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。宛名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。また、利用していらっしゃる理由について、あてはまる答えの番号に1つだけ をつけてください。

週 <input type="text"/> 日くらい	うち土・日の利用	1. ある
		2. ない

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある / 求職中である
3. 家族・親族などを介護しなければならない
4. 病気や障害を持っている
5. 学生である
6. その他 ()

問8-2 上記の問で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労していないから
2. 就労しているが、放課後児童クラブを知らなかったから
3. 就労しているが、近くに放課後児童クラブがないから
4. 就労しているが、放課後児童クラブに空きがないから
5. 就労しているが、放課後児童クラブの開所時間が短いから
6. 就労しているが、利用料がかかるから
7. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
8. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
9. 就労しているが、他の施設に預けているから
10. その他 ()

就学児童票(案)

問8-3 問8で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。宛名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。あてはまる答えの番号に をつけてください。

- | | | | |
|-------------|-----------------------------|--------------|-------|
| 1. 利用したい | 週 <input type="text"/> 日くらい | } うち土・日の利用希望 | 1. ある |
| 2. 今後も利用しない | | | 2. ない |

問8-4 今後放課後児童クラブを利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ をつけてください。

- お子さんの身の回りの世話を主にしている方が
1. 現在就労している
 2. 就労予定がある / 求職中である
 3. そのうち就労したいと考えている
 4. 家族・親族などを介護しなければならない
 5. 病気や障害を持っている
 6. 学生である / 就学したい
 7. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
 8. その他 ()

問8-5 地域によっては、放課後児童クラブと連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用意向はありますか。あてはまる答えの番号に をつけてください。
【放課後子ども教室...すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組をするものです。】

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| 1. 意向がある | 週 <input type="text"/> 日くらい |
| 2. 意向がない | |
| 3. 対象のサービスがない | |

問9 宛名のお子さんについてお伺いします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号に をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------------------------------|
| 1. 放課後児童クラブを利用したい | (1を選ばれた方) 小学 <input type="text"/> 年生まで利用したい |
| 2. 放課後子ども教室を利用したい | |
| 3. クラブ活動など習い事をさせたい | |
| 4. 利用を希望するサービスは特にない | |
| 5. その他 () | |

就学児童票(案)

4. 宛名のお子さんの病児・病後児の対応についてお伺いします。

問10 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった	(問10-1,2へ)
2. なかった	(問11へ)

この1年間の、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問10-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに つ け、それぞれの日数を記入してください。
(半日程度についても1日としてカウントしてください)

1. 父親が休んだ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
2. 母親が休んだ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
3. (同居者を含む)親族・知人に預けた	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日

問10-2 「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

できれば施設等に預けたい	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
--------------	----------------------	----------------------	---

4. 就労していない保護者がみた	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育園で実施しているサービスを含む)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
6. ベビーシッターを頼んだ	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
7. ファミリーサポートセンターにお願いした (地域住民による子どもの預かりサービス)	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
9. その他 ()	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日

病児・病後児保育の推計ニーズ量の算出のための項目。現状の利用量は、問12-1の選択肢5の日数。潜在ニーズ推計のため、子どもが病気やケガで学校を休んだり、放課後児童クラブなど通常のサービスが受けられなかったときの対処方法及び日数を把握。父親・母親が休んだ日数及び親族・知人に預けた日数のうち、施設等に預けたい日数を病児・病後児の潜在利用ニーズとして用いることも可能。自治体の判断により、潜在ニーズをより広くとってかまわない。

就学児童票(案)

5. すべての方に、宛名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします。

問11 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

1. ある	年間	<input type="text"/>	<input type="text"/>	日
（理由別）				
私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的				<input type="text"/>
冠婚葬祭、子どもの親の病気				<input type="text"/>
就労				<input type="text"/>
2. ない				

一時預かりの推計ニーズ算出のための項目。現状は、問11の「1.」の日数で家族類型別の利用実態を把握。潜在ニーズは、問12で回答した人の日数。

問12 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に	<input type="text"/>	日くらい
----	----------------------	------

6. すべての方に、宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします。

問13 この1年間に、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことはありましたか。

1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む）	（問13-1,2へ）
2. なかった	（問14へ）

ショートステイの推計ニーズ量の算出のための項目。ショートステイを必要とした場合の対処方法及び日数、親族・知人が対応した場合の困難度を把握。この困難度は、推計ニーズ量の算出にあたっての優先順位をつける際に活用。

問13-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてにをつけ、それぞれの日数を記入してください。

問13-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる答えの番号1つにをつけてください。）

1.（同居者を含む）親族・知人に預けた	<input type="text"/>	<input type="text"/>	泊	1.非常に困難	2.どちらかというと困難	3.特に困難ではない
---------------------	----------------------	----------------------	---	---------	--------------	------------

2. 保育サービス（右下注）を利用した	<input type="text"/>	<input type="text"/>	泊
3. 仕方なく子どもも同行させた	<input type="text"/>	<input type="text"/>	泊
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/>	<input type="text"/>	泊
5. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/>	<input type="text"/>	泊

ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど

就学児童票(案)

7. ベビーシッターを利用している方にお伺いします。

問14 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに をおつけください。

1. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
2. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
3. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
4. その他の目的で利用している

ベビーシッターの推計ニーズ量算出のための項目。現状は、問14に回答した人の割合と問14-1の日数・時間で家族類型別の利用実態を把握。潜在希望利用率は、問15で把握。

問14-1 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい 1回あたり 時間程度

問15 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい

8. すべての方に、ファミリーサポートセンターの利用についてお伺いします。

問16 ファミリーサポートセンターを利用していますか

1. 利用している (問16-1,2,3へ)
2. 利用していない (問16-4へ)

問16-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに をおつけください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している(朝・夕等)
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. 保育施設等の送り迎えに利用している
7. その他の目的で利用している

ファミリーサポートセンターの推計ニーズ量算出のための項目。現状は、問16で「1.」と回答した人の割合と問16-1の日数・時間で家族類型別の利用実態を把握。潜在希望利用率及びニーズ量は、問16-3及び16-4で把握。

問16-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい 1回あたり 時間程度

問16-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

月に 時間くらい

問16-4 今は利用していないが、できれば利用した方は、枠内に数字をご記入ください。

月に 時間くらい